

Book List for Technologists
—もの大学教員が学生に薦める本—

推薦教員：堀内 勉

推薦図書①

タイトル	本を遊ぶ 働くほど負ける時代の読書術
著者	小飼 弾
出版社	朝日新聞出版(朝日文庫)
推薦理由	<p>ひたすら読書を勧める本。中学時代に積極的引きこもりになった著者が特別な準備もせず 16 歳で大検に合格したのは読書のおかげだった。プログラマーであり投資家であり年間 5000 冊を読破する伝説の書評ブロガーが勧める読書術なので説得力がある。暗号通貨,量子暗号,量子コンピュータ,AI,シンギュラリティなど今後社会が大きく変わっていく中で生きていくのに必要なのは読書による教養であると説く。細かく章節に分けてあり読みやすく章節のタイトルも良く考えられている。</p>

推薦図書②

タイトル	生物の中の悪魔 「情報」で生命の謎を解く
著者	ポール・デイヴィス
出版社	SB クリエイティブ
推薦理由	<p>誰でも一度は考えたことがある「生命とは?」「生命と非生命を分け隔てるものは?」今をときめく分子生物学をもってしても生命の本質はわかっていない。しかしながら、コンピュータ科学、量子力学など最新の知性を総合させた「量子生物学」で生命のさまざま謎が解明されてきている。物理学者である著者が最先端の科学から演繹的に「生命とは」に対して明快に論を展開している。生命を単純な数式で表現している。その数式を実感して欲しい。</p>

推薦図書③

タイトル	大学 4 年間のデータサイエンスが 10 時間でざっと学べる
著者	久野遼平 木脇太一
出版社	KADOKAWA
推薦理由	<p>最先端企業が渴望しているデータサイエンティストを目指す人向けのタイトルどおりの入門書。1項目を見開き 2頁で解説(左頁が解説文、右頁が図面)。姉妹書「[図解]大学 4 年間のデータサイエンスが 10 時間でざっと学べる」と合わせて読むと良いかも。ただしこれらの書籍を読むだけデータサイエンティストになれるわけでない。「東京大学のデータサイエンティスト育成講座」などで実際にコードを書いて地道に4年間学んで力をつけていく必要がある。もの大生、ガンバレ。</p>